

今冬の大雪・暴風雪等 に関する取組について

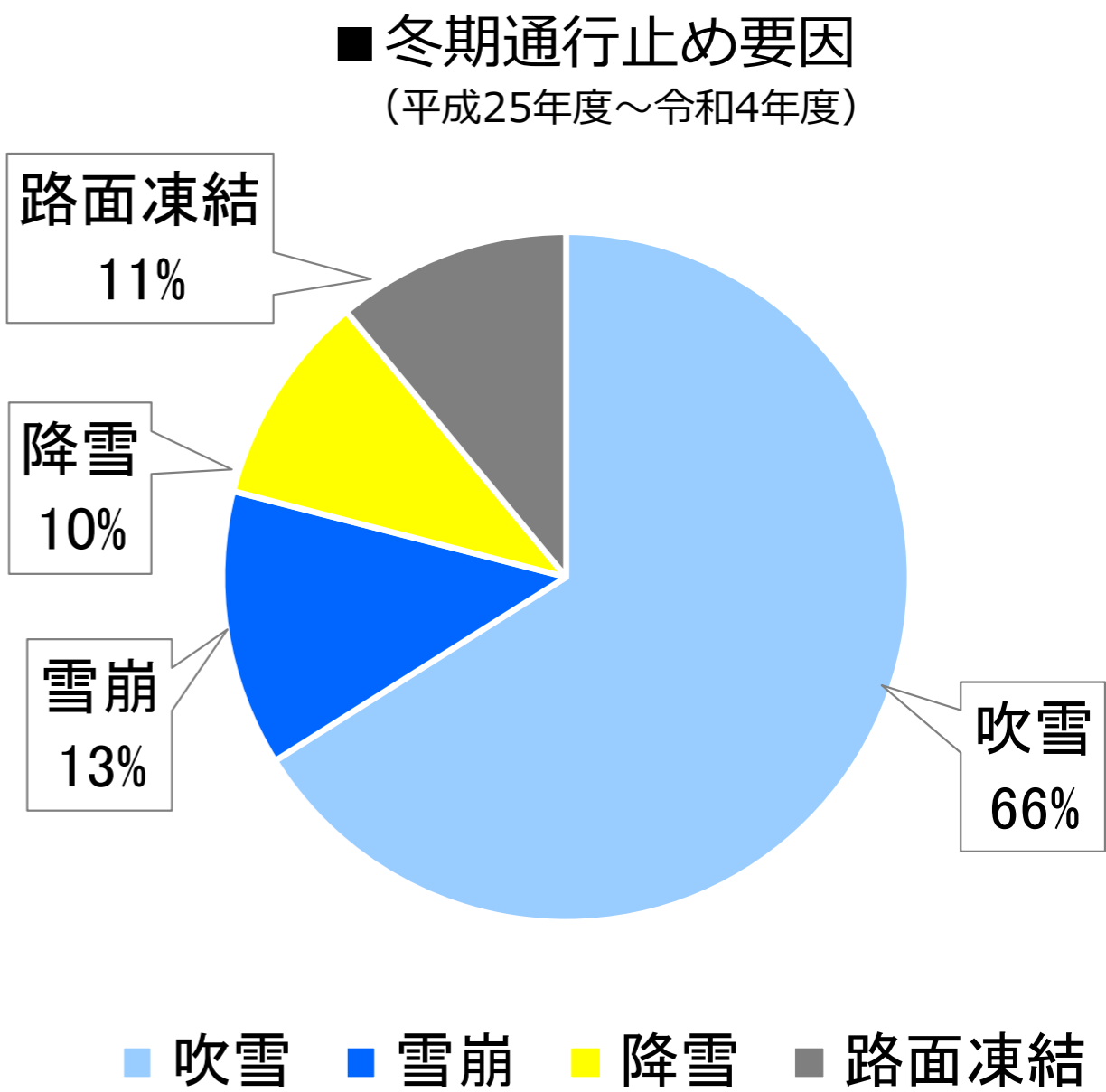
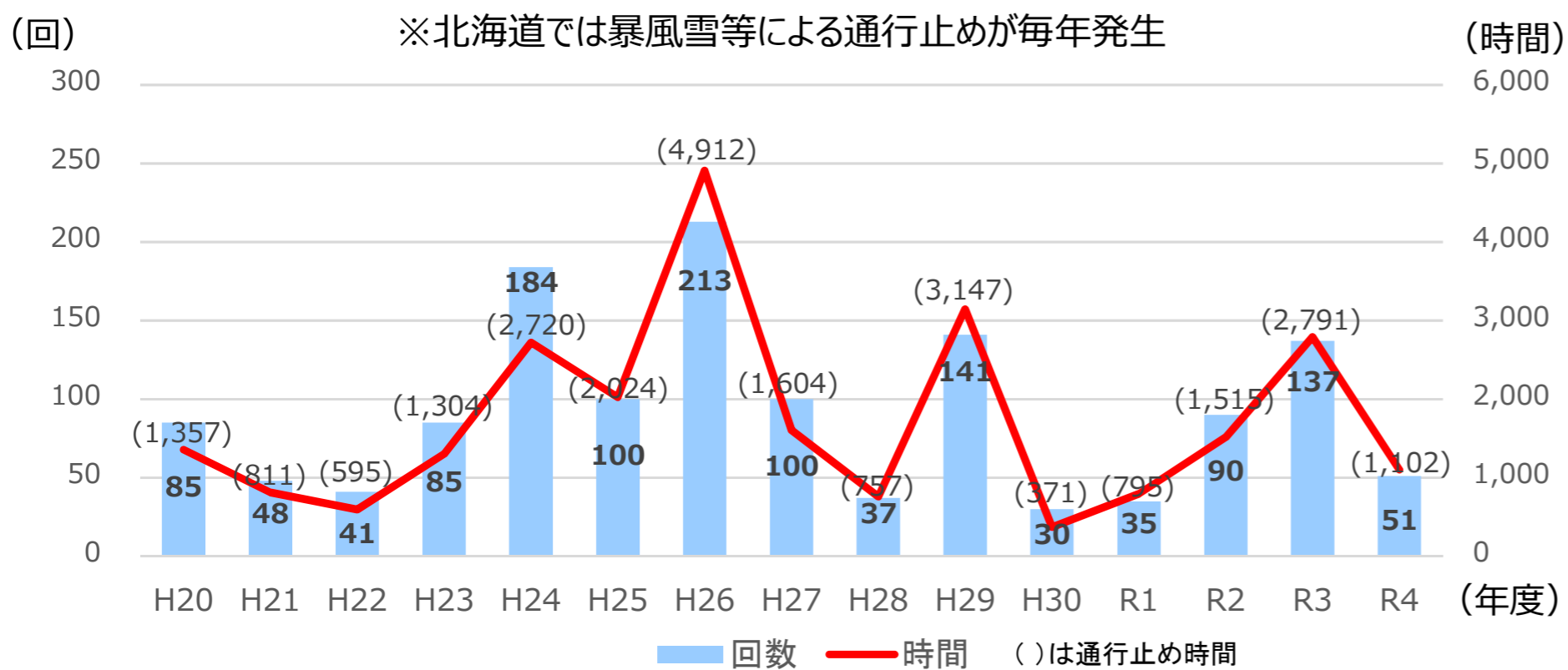


1. 北海道における冬期の状況

◆ 北海道の国道における冬期通行止めの状況

- 積雪寒冷地特有の冬期災害が発生する北海道では、大雪や暴風雪などの影響による国道の冬期間の通行止めが多く発生しており、冬期通行止め要因の約7割を吹雪が占めている状況。
- 令和4年度は、発達した低気圧の影響等により、複数路線の国道で51回、延べ1,102時間の通行止めを実施し、数日間にわたり交通全般に大きな影響を及ぼした。

■ 国道の冬期通行止め状況



■ 北海道の国道の冬期の状況



▲ 通行規制の状況 (国道337号 江別市～石狩市) R5.1



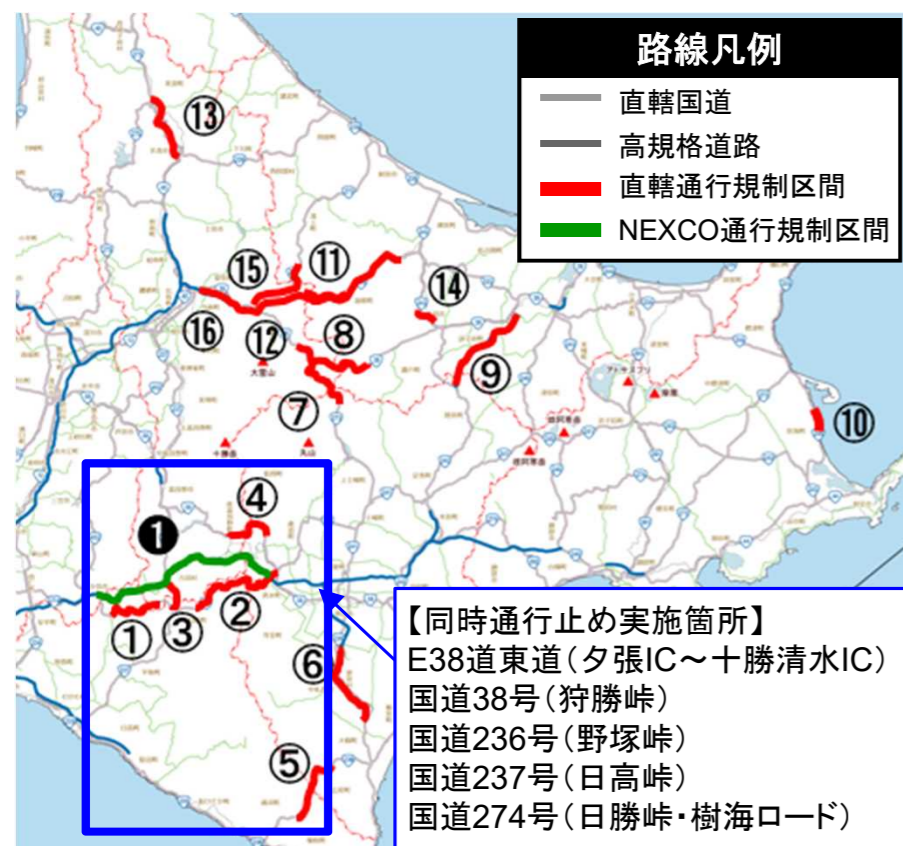
▲ 地吹雪による視程障害の状況 (国道239号 苫前町) R5.1

1. 北海道における冬期の状況

◆令和4年度 北海道における冬期の状況

- 12月22日から発生した大雪、暴風雪の影響で延べ13路線33区間、延長L=435.7kmにおいて、早い段階で躊躇のない通行止めを実施し、集中的な除雪により早期の交通確保を図った。
- この際、日勝峠周辺の高規格道路と一般国道の予防的同時通行止めを実施したほか、E39旭川紋別自動車道の通行止め区間において、北海道赤十字血液センターからの要請により、血液の緊急輸送のための輸送車を先導した。
- 1月10日には、後志地方を中心とした局地的な大雪の影響により、国道5号張碓峠で多数のスタックと渋滞が発生。通行止めによる集中除雪を行い、早期解消を図った。

■通行止め位置図 12月22日



■血液輸送車の先導



▲血液輸送車両先導状況
(E39旭川紋別自動車道) R4.12.23



▲集中除雪作業の状況
(国道274号 日勝峠) R4.12.22

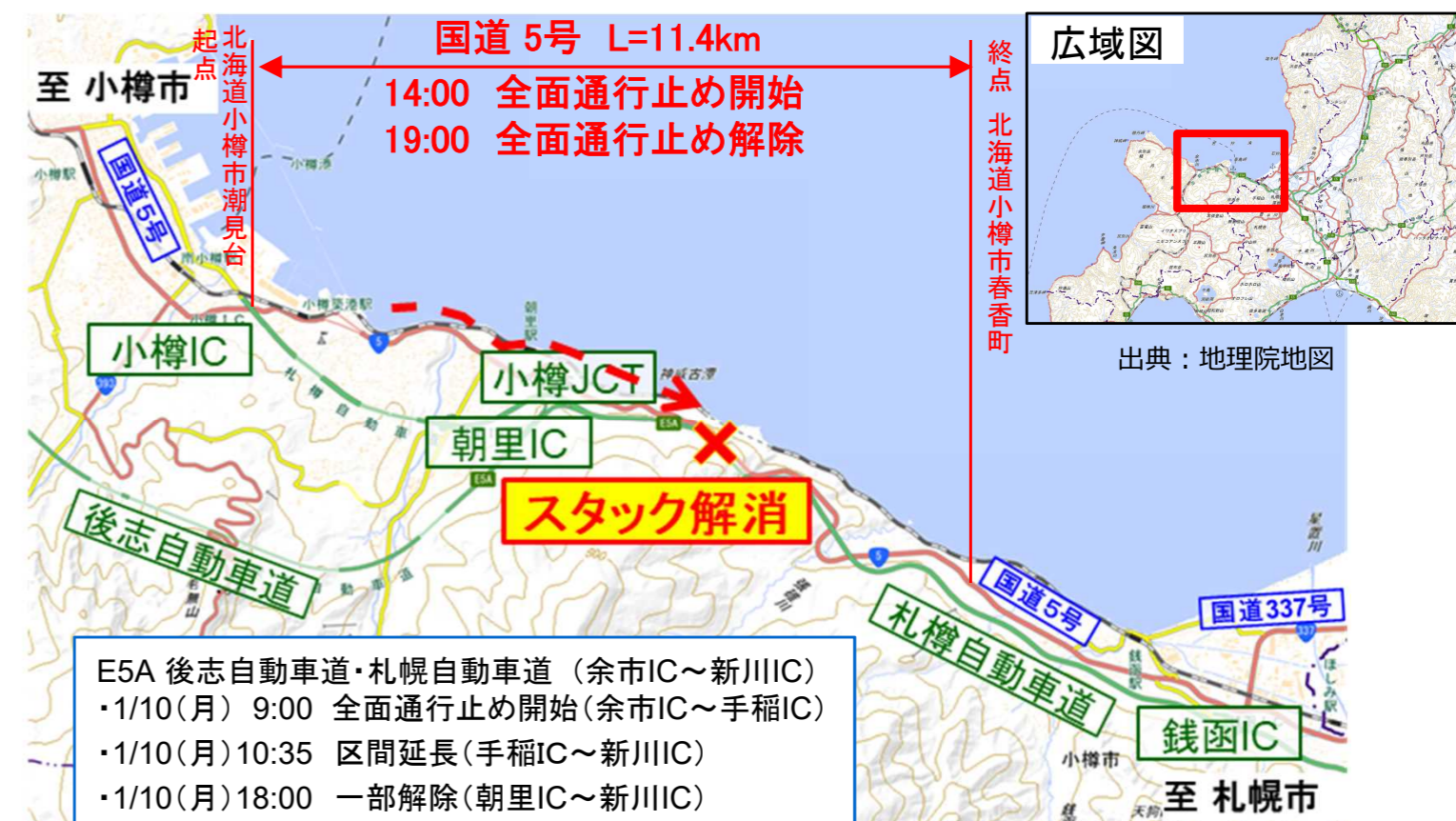


▲集中除雪作業の状況
(国道237号 日高峠) R4.12.23

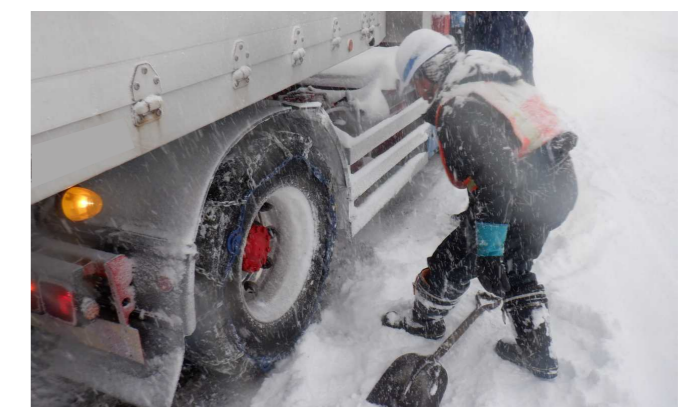


▲集中除雪作業の状況
(国道38号 狩勝峠) R4.12.23

■通行止め位置図 1月10日



▲渋滞状況
(国道5号 小樽市) R5.1.10



▲スタック車両の除雪作業
(国道5号 小樽市) R5.1.10

2. 今冬の取組

◆今冬（令和5年度）の取組

① 除雪体制の確保

- 国道の除雪体制【**継続**】
⇒ 令和5年度は、153箇所の除雪基地と1,071台の除雪機械により国道の除雪体制を確保
- 広域支援用除雪機械の配備状況【**継続**】
⇒ 通常時の除雪に使用する除雪車とは別に、大雪時に広域運用が可能な除雪車を、北海道内の5つの拠点に合計11台配備

② 暴風雪時における立ち往生車両発生防止

- 予防的通行止めの実施【**継続**】
⇒ 数年に一度の猛心ぶき等が予想される場合において、早い段階で躊躇なく通行止めを実施。集中的な除雪の実施により、早期の交通確保を行う
⇒ 行動計画(タイムライン)による関係機関との連携
- 通行止め時の傷病人の緊急的な搬送【**連携**】
⇒ 通行止め区間を除雪車等で先導支援を行い、地域住民の安全を確保
- 高速道路通行止め時の並行路線対策(国道5号張碓峠)【**新規**】
⇒ 高速道路が通行止めになった場合、並行国道の道路状況を重点監視、除雪体制の強化、緊急開口部の活用等により通行止め発生を防止

③ 立ち往生車両等の迅速な解消に向けた準備

- 災害対策基本法に基づく緊急通行車両の通行確保【**継続**】
⇒ 大雪に伴う大規模滞留が発生した場合、速やかな道路啓開を実施することにより、消防や救助活動、緊急物資輸送などの災害応急対策、除雪作業が可能
- 中央分離帯の緊急開口による車両の滞留解消【**継続**】
⇒ 大雪に伴う大規模滞留が発生した場合、中央分離帯の緊急開口を行い車両を誘導することにより、長時間の車両滞留を防ぎ、乗員の生命を確保

④ 防災情報の活用について

- 様々な手段による道路利用者への情報提供【**お知らせ**】
⇒ 日本道路交通情報センターと連携した情報発信強化
・大雪・暴風雪時の情報発信強化(広域迂回の呼びかけ等)【**新規**】
⇒ インターネットやメール配信による道路情報の提供
⇒ 関係機関と連携した情報提供、SNSの活用
- 様々な手段による道路利用者からの情報収集【**お願い**】
⇒ 道路緊急ダイヤル(#9910)やみちレポの活用により、道路の異状等に関する情報の投稿、通報が可能。
頂いた情報を基に、速やかな対応を実施
- 暴風雪等への備えと対応【**お願い**】

① 除雪体制の確保

◆ 国道の除雪体制

- 北海道内では**153箇所**の除雪基地と**1,071台**の除雪機械により、直轄国道除雪区間(延長L=6,855km)の除雪体制を確保。
- 通常時の除雪に使用する除雪機械とは別に、大雪時に**広域運用が可能な除雪機械**を配備しており、地域内の国道除雪支援のほか、**自治体除雪の支援体制**を確保。
- 全道4箇所(道央,道南,道北,道東)の災害対策用機械配備拠点と、暴風雪の発生頻度が高い網走・釧路地方を補う、網走を含めた**5つの拠点**に合計**11台**の除雪機械を配備。

除雪基地・機械配置状況

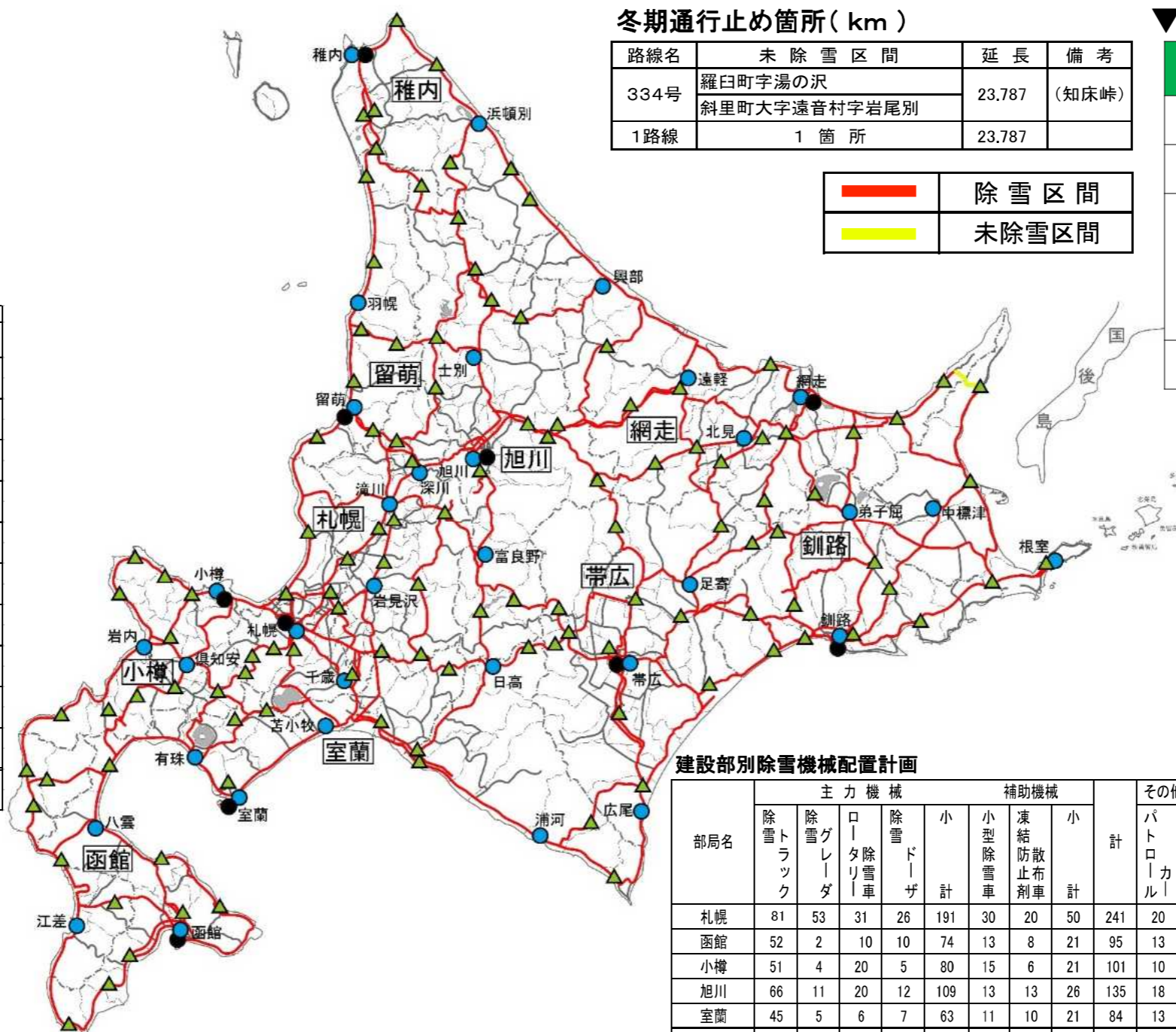
除雪基地 153箇所
除雪機械 1,071台
除雪延長 6,855km

建設部別除雪延長及び除雪基地数

()書は、ダブル区間で外数

| 部局名 | 除雪延長 [m] | 基地数 [箇所] | 事務所 [箇所] | ステーション [箇所] |
|-----|------------------------|----------|----------|-------------|
| 札幌 | (51,145) 960,586 | 24 | 5 | 19 |
| 函館 | (86,960) 646,735 | 15 | 3 | 12 |
| 小樽 | (13,545) 475,386 | 14 | 3 | 11 |
| 旭川 | (37,180) 723,106 | 17 | 3 | 14 |
| 室蘭 | (60,170) 643,209 | 14 | 5 | 9 |
| 釧路 | (30,534) 870,335 | 18 | 4 | 14 |
| 帯広 | (80,656) 669,276 | 15 | 3 | 12 |
| 網走 | (19,324) 914,200 | 17 | 4 | 13 |
| 留萌 | (26,922) 261,621 | 10 | 2 | 8 |
| 稚内 | (26,155) 257,820 | 9 | 2 | 7 |
| 合計 | (432,591) 6,422,274 | 153 | 34 | 119 |

※ステーションには事務所分庁舎を含む



▼ 広域支援用除雪機械の配備

除雪体制強化に伴う除雪機械の増強台数

| | | |
|---------|---------------|-----|
| 除雪トラック | 10t級,6×6,IGSM | 5台 |
| 除雪グレーダ | 4.0m級 | 1台 |
| ロータリ除雪車 | 2.2m級 | 3台 |
| | 2.6m級,294kw級 | 1台 |
| | 2.6m級,一車線積込型 | 1台 |
| 合計 | | 11台 |

▼ 広域支援用除雪機械の内訳 (拠点別)

① 札幌開発建設部(道央圏)

| | | |
|---------|---------------|----|
| 除雪トラック | 10t級,6×6,IGSM | 1台 |
| 除雪グレーダ | 4.0m級 | 1台 |
| ロータリ除雪車 | 2.6m級,一車線積込型 | 1台 |

② 函館開発建設部(道南圏)

| | | |
|---------|---------------|----|
| 除雪トラック | 10t級,6×6,IGSM | 1台 |
| ロータリ除雪車 | 2.2m級 | 1台 |

③ 旭川開発建設部(道北圏)

| | | |
|---------|---------------|----|
| 除雪トラック | 10t級,6×6,IGSM | 1台 |
| ロータリ除雪車 | 2.2m級 | 1台 |

④ 帯広開発建設部(道東圏)

| | | |
|---------|---------------|----|
| 除雪トラック | 10t級,6×6,IGSM | 1台 |
| ロータリ除雪車 | 2.2m級 | 1台 |

⑤ 網走開発建設部(網走・釧路地方)

| | | |
|---------|---------------|----|
| 除雪トラック | 10t級,6×6,IGSM | 1台 |
| ロータリ除雪車 | 2.6m,294kw級 | 1台 |

【凡例】

- 開発建設部 (除雪基地)
- 開発事務所
- 道路事務所
- ▲ 除雪ステーション

建設部別除雪機械配置計画

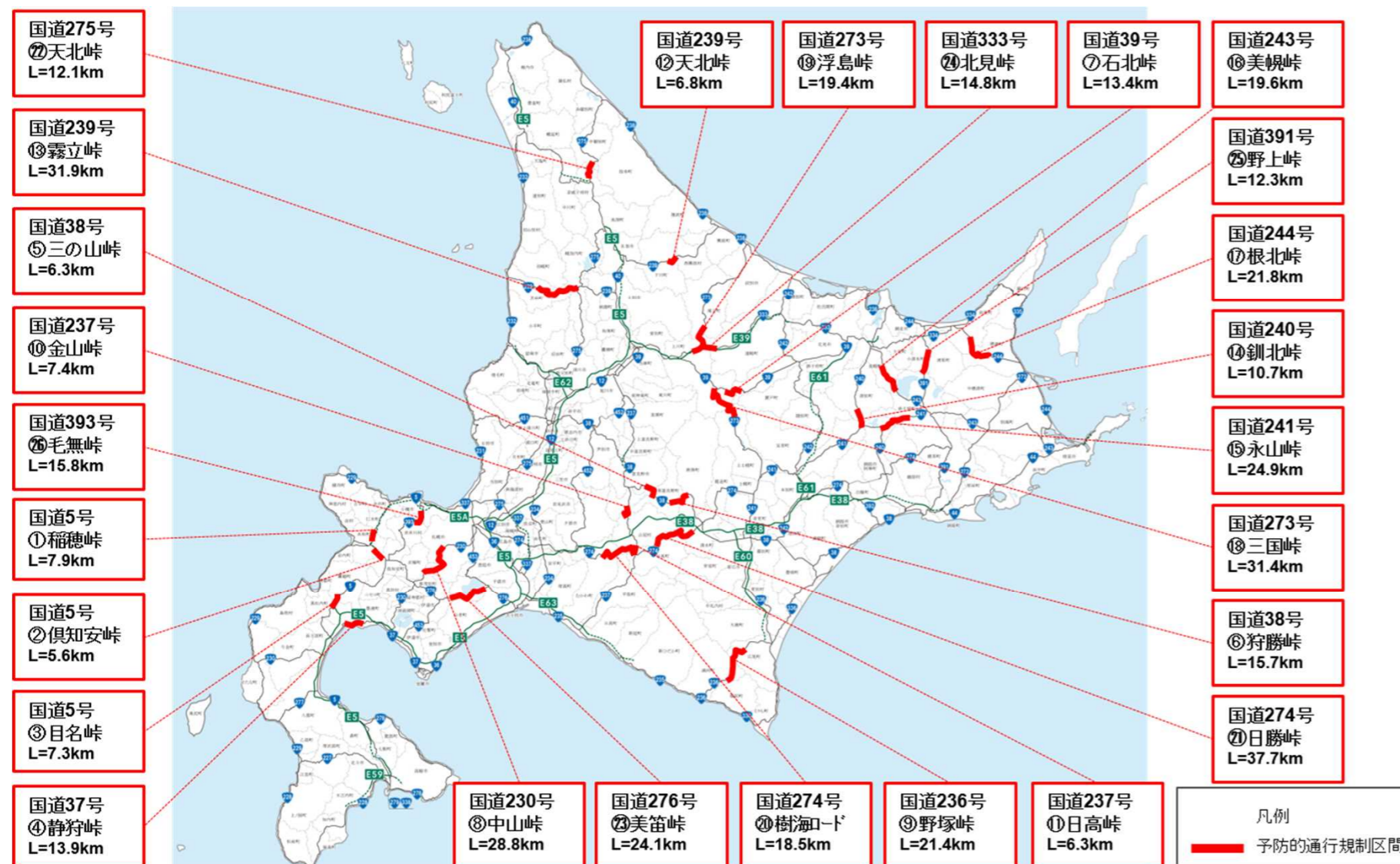
| 部局名 | 主力機械 | | | | 補助機械 | | | | その他機械 | | 合計 | |
|-----|--------|--------|---------|-------|------|-------|-------|-----|--------|-----|-----|-------|
| | 除雪トラック | 除雪グレーダ | ロータリ除雪車 | 除雪ドーザ | 小計 | 小型除雪車 | 凍結防止布 | 小計 | パトリカール | 小計 | | |
| 札幌 | 81 | 53 | 31 | 26 | 191 | 30 | 20 | 50 | 241 | 20 | 20 | 261 |
| 函館 | 52 | 2 | 10 | 10 | 74 | 13 | 8 | 21 | 95 | 13 | 13 | 108 |
| 小樽 | 51 | 4 | 20 | 5 | 80 | 15 | 6 | 21 | 101 | 10 | 10 | 111 |
| 旭川 | 66 | 11 | 20 | 12 | 109 | 13 | 13 | 26 | 135 | 18 | 18 | 153 |
| 室蘭 | 45 | 5 | 6 | 7 | 63 | 11 | 10 | 21 | 84 | 13 | 13 | 97 |
| 釧路 | 60 | 3 | 15 | 8 | 86 | 7 | 4 | 11 | 97 | 19 | 19 | 116 |
| 帯広 | 47 | 4 | 12 | 6 | 69 | 8 | 11 | 19 | 88 | 11 | 11 | 99 |
| 網走 | 74 | 2 | 16 | 11 | 103 | 11 | 14 | 25 | 128 | 22 | 22 | 150 |
| 留萌 | 31 | 1 | 10 | 4 | 46 | 6 | 2 | 8 | 54 | 6 | 6 | 60 |
| 稚内 | 28 | 1 | 9 | 3 | 41 | 6 | 1 | 7 | 48 | 6 | 6 | 54 |
| 計 | 535 | 86 | 149 | 92 | 862 | 120 | 89 | 209 | 1,071 | 138 | 138 | 1,209 |

② 暴風雪時における立ち往生車両発生防止

◆ 予防的通行止めの実施・通行止め時の傷病人の緊急的な搬送

- 数年に一度の猛ふぶき等が予想される場合は、車両の大規模な立ち往生の発生による通行止めの長期化を防ぐため早い段階で躊躇のない通行止めを実施。
- 通行止め実施後は、集中的な除雪により早期の交通解放を行うことで、住民生活や社会経済活動への影響を少なくすることを目指します。
- 各関係機関は通行止めを行うタイムライン（行動計画）により連携し、速やかな予防的通行止めを実施します。
- 傷病人の搬送等、緊急性の高い場合は自治体等の要請に基づき、通行止め区間の除雪車等での先導支援を行い地域住民の安全を確保します。

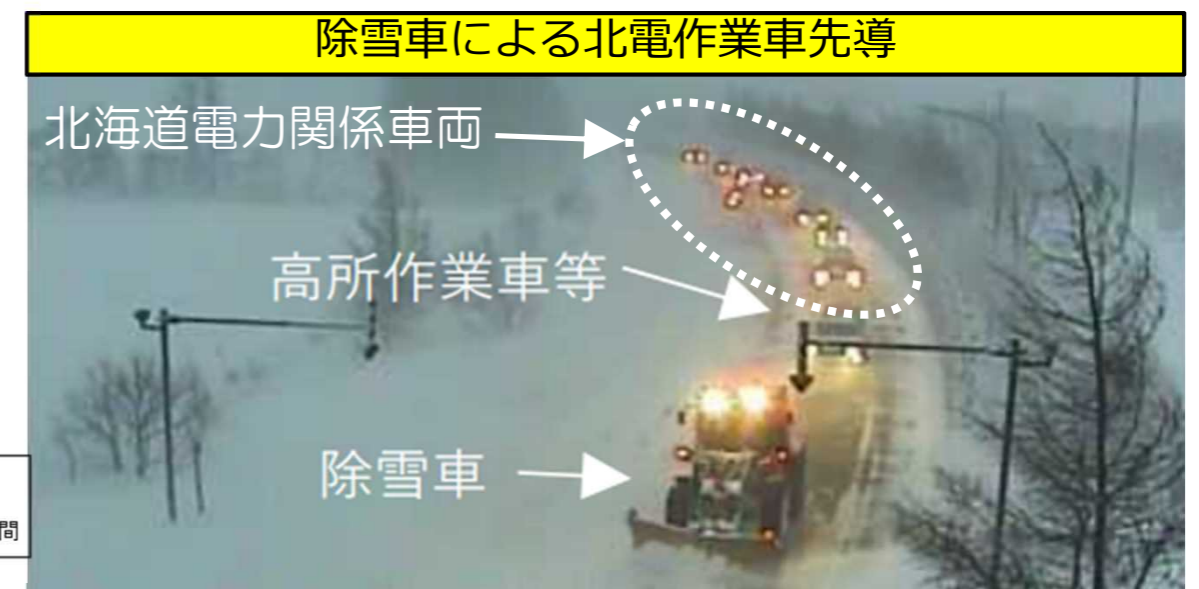
■ 予防的通行規制区間 位置図



■ 通行止め実施時の支援活動



(国道39号網走市) 人工透析患者の搬送を先導



(国道272号標津町) 停電復旧作業のため出動した北海道電力関係車両の先導

② 暴風雪時における立ち往生車両発生防止

◆ 高速道路通行止め時の並行路線対策（国道5号張碓峠）【新規】

○ 高速道路が通行止めになった場合、**並行する国道の交通量の増加**が予想されます。そのため並行する国道におけるスタック・事故による通行止めの発生を防ぐため、**路面・降雪等道路状況の重点監視、除雪車の事前配備、巡回除雪等の除雪の体制強化**及びNEXCO東日本と連携した緊急開口部の活用等を実施します。

■ 国道5号張碓峠における取組



① CCTV監視強化

高速道路の通行止め時は、並行国道の路面・降雪等道路状況の監視体制を強化



▲CCTV画像

② 情報板による交通情報提供

情報板を活用して通行止め情報や除雪作業状況等の情報を提供



▲情報板の表示内容イメージ



出典：地理院地図

③ 除雪車の事前配備

張碓峠の山頂付近の張碓駐車帯に除雪機械を事前配備し、立ち往生が発生した場合も速やかに対応

④ 巡回除雪の実施

天候悪化による大雪や吹きだまりの発生が予想される場合は、巡回除雪を実施し立ち往生発生を防止



▲巡回除雪状況

⑤ 緊急開口部の活用

高速道路の緊急開口部を活用して、除雪車が国道へアクセスできるようNEXCO東日本と連携



▲緊急開口部活用に向けた合同訓練（令和5年1月）

③ 立ち往生車両等の迅速な解消に向けた準備

◆ 車両の立ち往生対策（放置車両等の移動、中央分離帯の緊急開口）

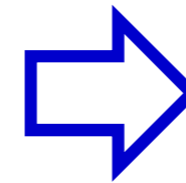
- **災害対策基本法**に基づき、大規模災害時において緊急車両の通行を確保する必要がある場合には、車両の立ち往生対策として道路管理者が区間を指定し、自ら**放置車両・立ち往生車両等の移動**を行います。
- 必要に応じて、**中央分離帯の緊急開口**による車両誘導を行い、車両の滞留を速やかに解消します。

■ 災害対策基本法に基づく緊急通行車両の通行確保

緊急通行車両の通行を確保する必要がある場合は、災害対策基本法に基づき、道路管理者が区間を指定して、放置車両・立ち往生車両等の移動を行い、道路啓開を迅速に行います。
(法第76条の6)



立ち往生発生状況(国道274号長沼町(H20年2月))



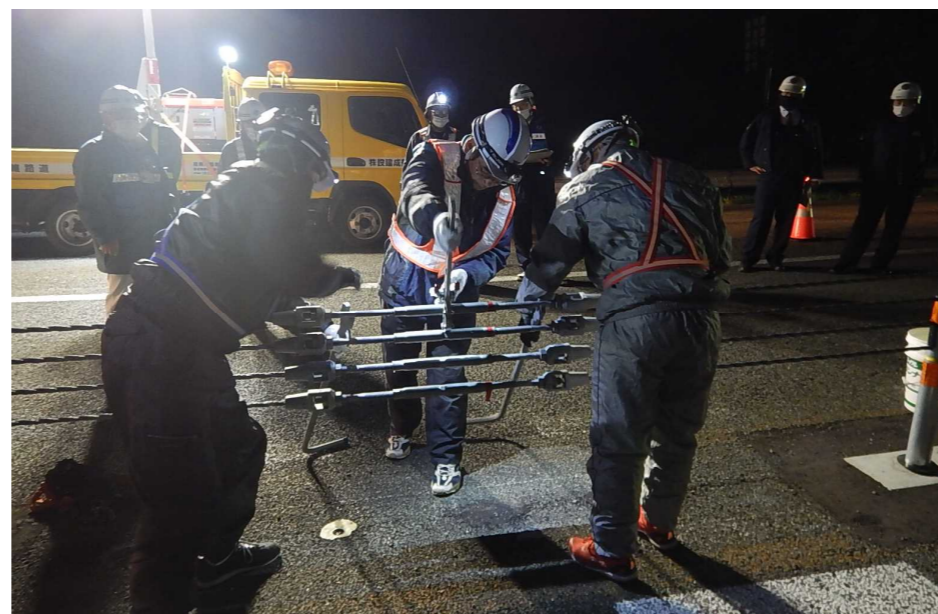
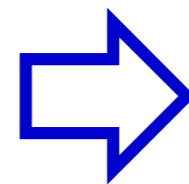
放置車両・立ち往生車両の移動状況（訓練）

■ 中央分離帯の緊急開口による車両の滞留解消

立ち往生が発生した場合、中央分離帯緊急開口（ワイヤロープ式防護柵等の撤去）を行い、車両滞留を速やかに解消します。



大規模滞留発生状況(函館・江差自動車道(令和4年2月))



ワイヤロープ式防護柵の撤去状況（訓練）



ワイヤロープ式防護柵の撤去後の転回状況（訓練）

④ 防災情報の活用について

◆ (公財) 日本道路交通情報センターと連携した情報発信強化 【新規】

- 悪天候時における大規模車両滞留の発生を未然に防止するため、**日本道路交通情報センター(JARTIC)と連携し**道路情報を北海道開発局からリアルタイムに提供することで、**暴風雪時に外出を控えることやタイヤチェーン装着徹底の呼びかけ、広域迂回への協力依頼**など、道路状況に応じた、より具体的でわかりやすい情報発信を実施します。

■ (公財) 日本道路交通情報センターと連携したラジオ放送による情報提供

課題

- 道央圏の交通量の多い国道で通行止めが複数発生したことにより、迂回しようとした車両の立ち往生が接続する道道・町道で多発 (R5年1月24日~26日)
- 運転中のドライバーは、通行止め等の道路交通情報をSNS等で収集することが難しい

- 大雪・暴風雪などの悪天候が予想される場合に場面において発信したい情報を道路交通情報センターへ北海道開発局より情報発信を依頼し、ラジオ放送により情報発信する。

取組

- 北海道開発局がリアルタイムに道路情報 (悪天候、通行止め等) を提供
- 日本道路交通情報センターがラジオ放送によりドライバーに最新情報を提供し、外出を控えることや広域迂回への協力を呼びかけ

北海道開発局は通行止め区間周辺の市町村道を利用した迂回は行わず、国道などに大きく迂回していただくよう呼びかけています。



日本道路交通情報センター

発信内容

① 悪天候予測時・警報等発表時

- 高速道路・国道等の通行止めの可能性
- 悪天候時の車での外出控え、大型車のタイヤチェーン装着徹底の呼びかけ

② 予防的通行止め・悪天候による通行止め実施時

- 高速道路・国道の通行止め情報
- 通行止めの増加や周辺道路における立ち往生・事故の発生の可能性
- 通行止め区間周辺の市町村道を利用した迂回は行わず、国道等を利用した広域迂回の協力依頼

④ 防災情報の活用について

◆インターネットやメール配信による道路情報の提供

- 「道路情報提供システム（Webページ）」では北海道内の道路（国道・道道）の通行止め情報や、国道のカメラ画像等を提供しています。
- また、「メール配信サービス」では、北海道内の国道の通行止め情報を提供しており、配信においては**任意での国道路線・区間の絞り込み選択、配信のタイミングを設定**することが可能です。

■道路情報提供システム（Webページ）

こちらからご覧になれます



<https://www.road-info-prvs.mlit.go.jp/roadinfo/pc/>

▼通行止め情報の提供



クリックすると通行規制情報の詳細を提供

規制箇所ごとに

- ・ 区間・延長
- ・ 解除予定日時
- ・ 規制原因 などの情報表示

地図上で規制箇所を表示

▼国道のカメラ画像提供



- ・ 国道カメラ画像を提供
- ・ 気象状況や路面状況が確認可能
- ・ 15分間隔で更新

気象情報も確認できる

落下物や落石などの安全確保に係る異常を発見された場合は、直ちに [道路緊急ダイヤル#9910](tel:011-222-9910) に通報をお願いします。

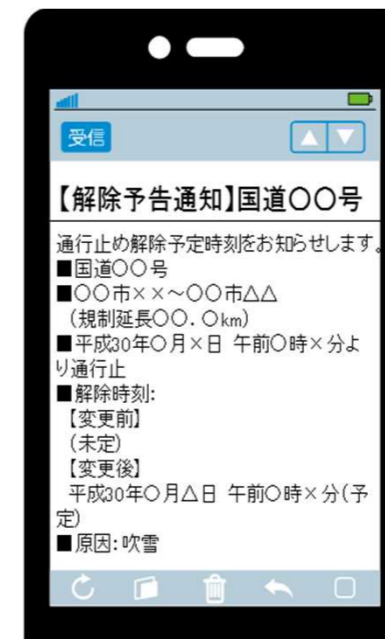
■メール配信サービス

スマホから▼

ケータイから▼



こちらからご覧になれます



(スマホ) <https://www.road-info-prvs.mlit.go.jp/announce/as/>
(ケータイ) <http://www.road-info-prvs.mlit.go.jp/announce/fp/>

メール登録者に

- ・ 通行止め開始
- ・ 解除予告
- ・ 通行止め解除 の情報を配信

任意の路線だけ選択できる

パターン1 → 「出発地」と「目的地」で選択

パターン2 → 通行する「峠」で選択

パターン3 → 通行する「国道」と「市町村」で選択

任意のタイミングで配信できる

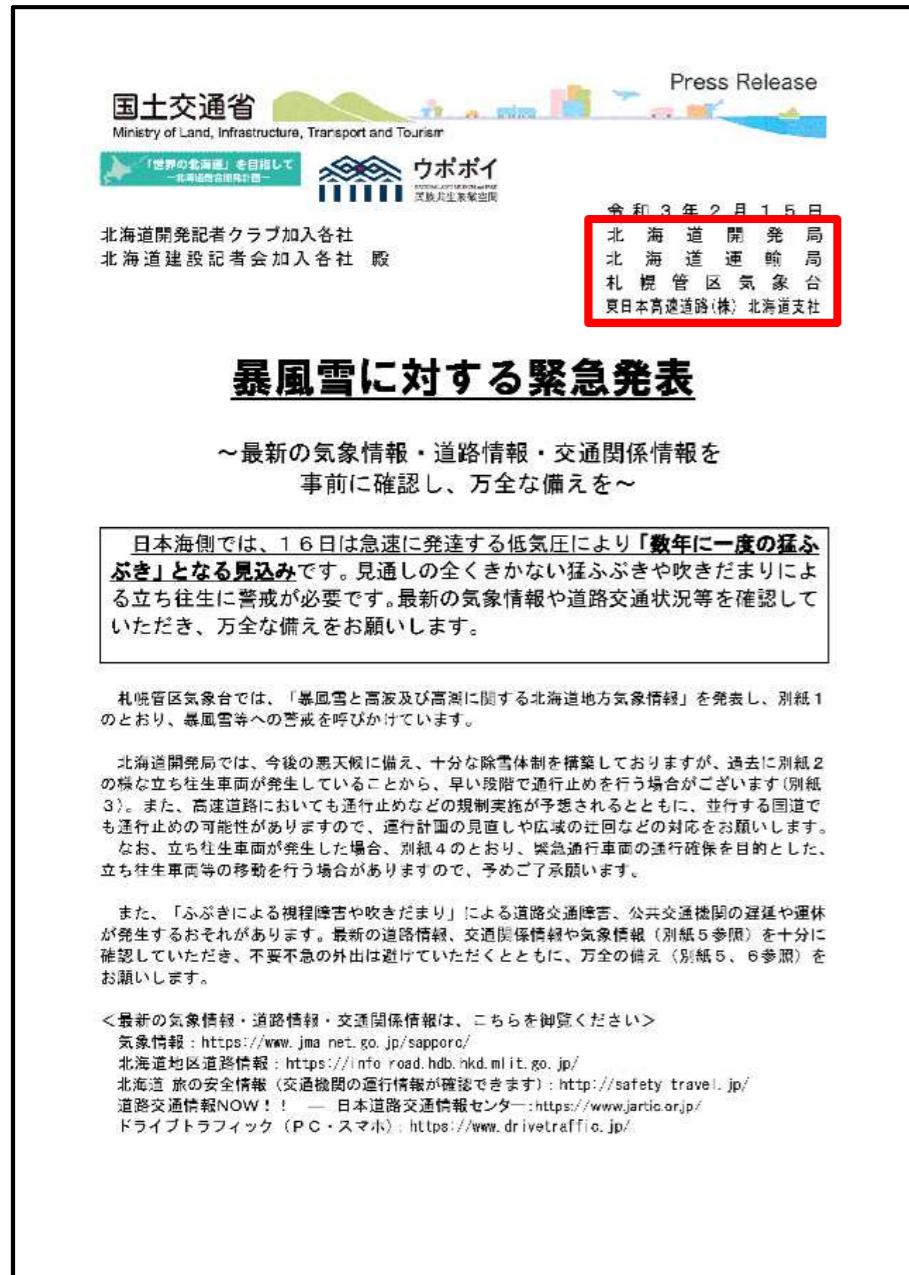
夜間(22時～翌7時)の配信を停止することが可能

④ 防災情報の活用について

◆ 関係機関と連携した情報提供、SNSの活用

- 「数年に一度の猛吹雪」や「記録的な大雪」などの悪天候が予想される場合に、北海道開発局、北海道運輸局、札幌管区気象台及びNEXCO東日本が連携し、注意喚起を目的として、最新の気象情報や立ち往生時の注意点及び通行止めが行われる可能性の高い国道区間などの情報を**緊急的に報道発表**します。
- 通常の報道発表に加えて、**SNS**等を活用し、**プッシュ型の情報発信**を実施します。
- また、**北海道運輸局が運営するHPと連携し**、国道の通行止め状況の情報を発信します。

■ 気象台、運輸局及びNEXCO東日本と連携した緊急発表



国土交通省 Ministry of Land, Infrastructure, Transport and Tourism

「世界の北海道」を目指して 北海道開発局

ウポボイ 国土交通省 国土交通省 国土交通省

令和5年2月15日

北海道開発記者クラブ加入各社
北海道建設記者会加入各社 監

北海道開発局
北海道運輸局
札幌管区気象台
東日本高速道路(株) 北海道支社

暴風雪に対する緊急発表

～最新の気象情報・道路情報・交通関係情報を事前に確認し、万全な備えを～

日本海側では、16日は急速に発達する低気圧により「**数年に一度の猛ふぶき**」となる見込みです。見通しの全くきかない猛ふぶきや吹きだまりによる立ち往生に警戒が必要です。最新の気象情報や道路交通状況等を確認していただき、万全な備えをお願いします。

札幌管区気象台では、「暴風雪と高波及び高潮に関する北海道地方気象情報」を発表し、別紙1のとおり、暴風雪等への警戒を呼びかけています。

北海道開発局では、今後の悪天候に備え、十分な除雪体制を構築しておりますが、過去に別紙2の様な立ち往生車両が発生していることから、早い段階で通行止めを行う場合がございます(別紙3)。また、高速道路においても通行止めなどの規制実施が予想されるとともに、並行する国道でも通行止めの可能性がありますので、通行計画の見直しや広域の迂回などの対応をお願いします。なお、立ち往生車両が発生した場合、別紙4のとおり、緊急通行車両の通行確保を目的とした、立ち往生車両等の移動を行う場合がありますので、予めご了承ください。

また、「ふぶきによる視程障害や吹きだまり」による道路交通障害、公共交通機関の遅延や運休が発生するおそれがあります。最新の道路情報、交通関係情報や気象情報(別紙5参照)を十分に確認していただき、不要不急の外出は避けていただくとともに、万全の備え(別紙5、6参照)をお願いします。

<最新の気象情報・道路情報・交通関係情報は、こちらを御覧ください>
気象情報: <https://www.jma-net.go.jp/sapporo/>
北海道地区道路情報: <https://info.road.hdb.hkd.mlit.go.jp/>
北海道 旅の安全情報(交通機関の運行情報が確認できます): <http://safety-travel.jp/>
道路交通情報NOW!! - 日本道路交通情報センター: <https://www.jaritc.or.jp/>
ドライブトラフィック(PC・スマホ): <https://www.drivetraffic.jp/>

■ SNS(X 旧Twitter)による情報提供

開発建設部 道路情報

国土交通省北海道開発局 @hkd_kaihatsu

【通行止め情報】
12月22日夕方からの悪天候の影響により国道の#通行止めを実施しています。
⑦国道273号(三国峠)、⑧国道39号(石北峠)は降雪状況により、本日午後11時以降は通行止めを実施しています。また、その他の規制区間についても、現段階ではまだ立っておりません。

国土交通省北海道開発局 札幌開発建設部 @mlit_hkd_sp

【#国道337号 #札幌大橋】
令和5年1月25日11:30現在
国道337号の札幌大橋で事故により当別方向の車線が通行止めになっています。通行を予定されている方は最新の交通情報をご確認ください。
#いのちとくらしをまもる防災減災

R337 79.0km 札幌大橋

北海道札幌市北区あいの里4条10丁目

午前11:44 - 2023年1月25日 - 1.2万 件の表示
47 件のリツイート 3 件の引用ツイート 52 件のいいね

北海道開発局道路情報公式Xアカウント

こちらからご覧になれます
https://twitter.com/hkd_milt_road

- ・ 国道の通行止め情報や災害情報をツイート
- ・ 開発建設部毎に道路情報専用のアカウントを開設
- ・ 大雪時は外出抑制、立ち往生発生状況等を情報発信

■ 北海道運輸局が運営する「北海道旅の安全情報」

こちらからご覧になれます
<https://hokkaido-safe-travel.brdg.site/>

北海道旅の安全情報

公共交通機関の交通情報等のプラットフォーム

主な運行状況

JR北海道

新千歳空港 国際線出発

新千歳空港 国内線出発

北海道旅客船協会

高速バス

ドライブトラフィック

北海道ハイヤー協会(タクシー)

北海道バスInfo.

道路情報提供システム

道路情報は
こちら

④ 防災情報の活用について

◆ 情報提供のお願い

【道路緊急ダイヤル#9910】

○道路利用者からの緊急通報を24時間受け付け、道路の穴ぼこ、路肩の崩壊等の道路損傷、落下物や路面の汚れなど道路の異状への対応を図り、道路通行の安全性を確保。

【みち・レ・ポ】

○『みち・レ・ポ』では北海道「道の駅」デジタルスタンプラリー機能のほか、同サイトから高規格道路や国道の異常気象や災害に伴う通行止め情報等を提供。また、同サイト利用者が発見した道路異状を投稿する機能も備え、迅速な道路維持管理に活用。

道路緊急ダイヤル#9910

道路の異状等を発見した場合に、直接道路管理者に緊急通報が可能。通報を受けた道路管理者は、迅速に道路の異状への対応を図り、道路の通行の安全を確保します。



【みち・レ・ポ】



令和2年11月から試行開始

▼ 道路利用者への提供

電子スタンプラリーを楽しめます

道の駅に行き、「みち・レ・ポ」のマップに表示される「道の駅」のアイコンをタップすることで「道の駅」のスタンプを押印できます。

道の駅の情報を簡単に取得できます

イベント開催情報や商品の入荷情報、営業のご案内など、北海道の「道の駅」から発信される情報を簡単に取得することができます。

通行止め情報を簡単に取得できます

北海道開発局が管理する高規格道路、及び国道の異常気象や災害による通行止め情報等を確認できます。

▼ 道路利用者からの提供

道路の異状を投稿できます

道路の異状や破損、悪天候によるトラブルなどを発見した際に、投稿フォームにて情報の投稿をお願いします。

除雪作業へのご理解・ご協力をお願い

○市街地の除雪作業は、快適・安全な朝の通勤通学のために、交通量の少ない深夜から早朝にかけて作業を行いますので、除雪作業に伴う**振動や騒音の発生にご理解をお願い**します。



○**路上駐車**は、円滑な**除雪作業の妨げ**になりますので、ご遠慮ください。



○車道や歩道への雪出しは、**交通事故の発生や車・歩行者の通行の障害**となる場合がありますので、**自宅内の雪は道路に出さない**でください。



○大型の除雪機械により除雪作業を行うため、玄関前等に一部の雪が残ることがあります。除雪作業後の**残雪処理は、各ご家庭等、ご使用者**にて実施していただくよう、ご理解をお願いします。



○市街地の交差点、郊外部の坂などに**砂箱**を設置しています。路面が凍結している場合には、**砂まき**にご協力をお願いします。



- 暴風雪による大雪や猛吹雪、吹きだまりにより「立ち往生」などの可能性がありますので、不要不急の外出はお控え下さい。
- やむを得ず自動車を利用し外出する場合には、ヘッドライト点灯、防寒対策などの事前の備えを十分に行うようお願いいたします。また、大型車はスタッドレスタイヤでも走行できない恐れがありますので、タイヤチェーンを必ず携行・装着して下さい。
- 安全な走行が困難な場合は無理をせず、最寄りの「SA・PA」や「道の駅」等で、天候回復を待つなど、早め早めの対応をお願いいたします。

■ 暴風雪等への備えと対応

外出の際は以下の備えを



※上記は備えの一例であり、天候等に合わせた万全な備えをお願いいたします。

立ち往生し救助を求めるときは

- 立ち往生してしまった場合は、ハザードランプ点灯や停止表示板等により、停車していることが他の車や周囲にわかるように表示。
- 警察・消防等に救助を求める場合は、出来るだけ位置を正確に伝える。

※国道での位置は、道路脇の1km置きに設置された標識を確認。

※警察署、消防署へ救助を求める場合 : 110/119
JAFロードサービスへ救助を求める場合 : 0570-00-8139 (#8139)



立ち往生して車内で救助を待っているときは

- 車で走行中に立ち往生してしまい車内で救助を待つときは、低体温症や凍傷、排気ガスによる一酸化炭素中毒にならないように十分注意が必要です。

！ 一酸化炭素中毒の危険性

車が雪に埋もれたときにエンジンをかけ続けると排気ガスによる一酸化炭素中毒の危険性が生じます。埋もれる深さが深いほど危険です。



！ 原則エンジン停止

一酸化炭素中毒の危険をなくすにはエンジンを切ることが大切です。防寒着や毛布、新聞紙などで体温の低下を防ぎましょう。



！ エンジンをかけるときは

防寒等でやむを得ずエンジンをかけるときには、排気管出口を確実に大気へ開放し、追加の降雪や吹きだまりによる再埋没に注意しましょう。



※窓を開けていても風向や窓の開度等の条件によっては、一酸化炭素中毒の危険性があります。